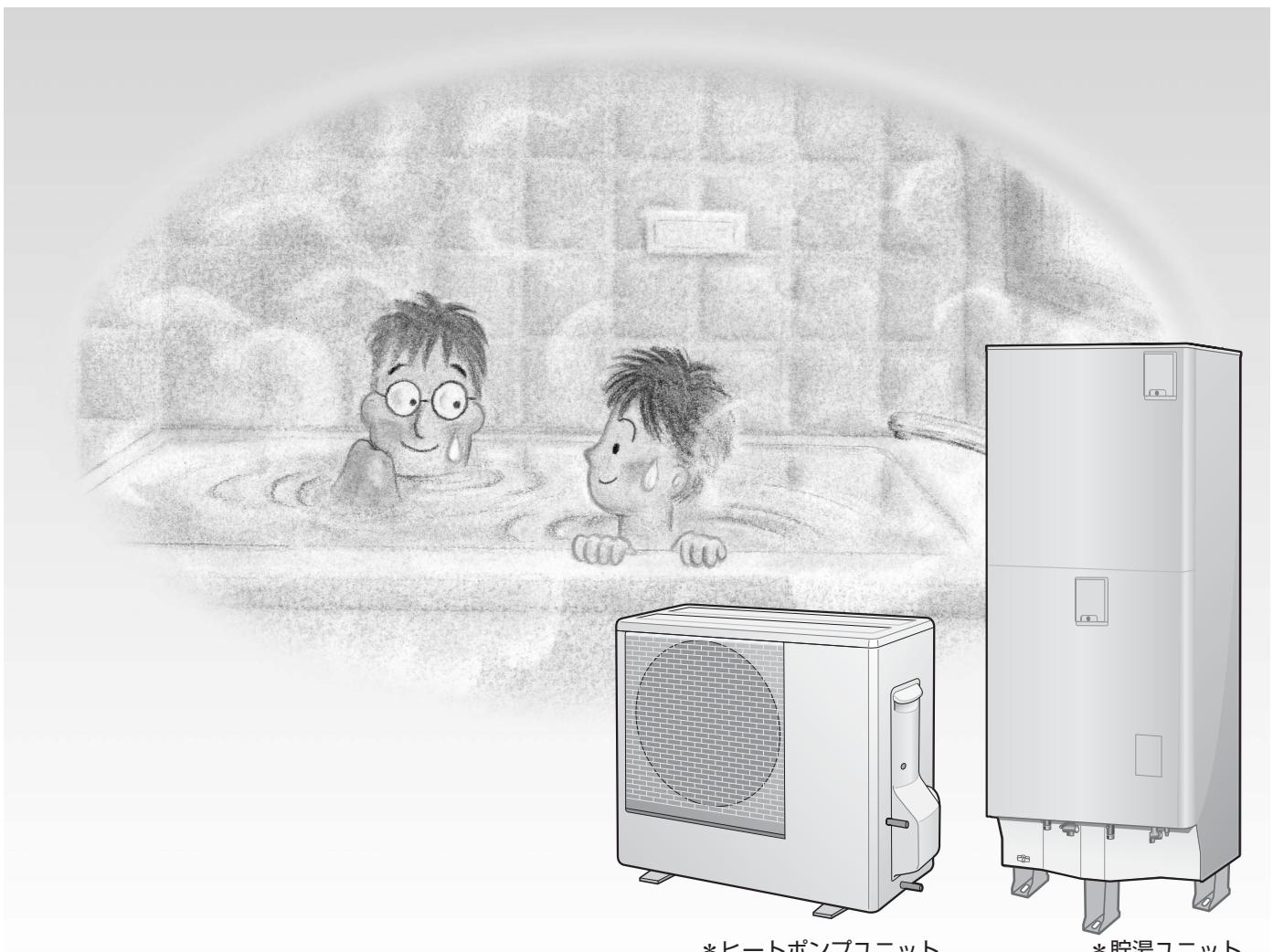
Panasonic®

取扱説明書

給湯専用

ヒートポンプ給湯機（家庭用）

〈寒冷地向け〉

■高圧力型	屋外用	屋内用	屋外用	屋内用
システム品番	HE-F37AZPS	HE-F37AZMPS	HE-F46AZPS	HE-F46AZMPS
貯湯ユニット品番	HE-F37AZP	HE-F37AZMP	HE-F46AZP	HE-F46AZMP
ヒートポンプユニット品番	HE-PF45AP	HE-PF45AP	HE-PF60AP	HE-PF60AP

＊ヒートポンプユニット　＊貯湯ユニット

保証書別添付　工事説明書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（4～7ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書、工事説明書とともに大切に保管してください。
- お買い上げの機種の品番は、本体のネームプレートと本書の「仕様」（42、43ページ）でご確認ください。

環境に配慮したエコキュートで快適な

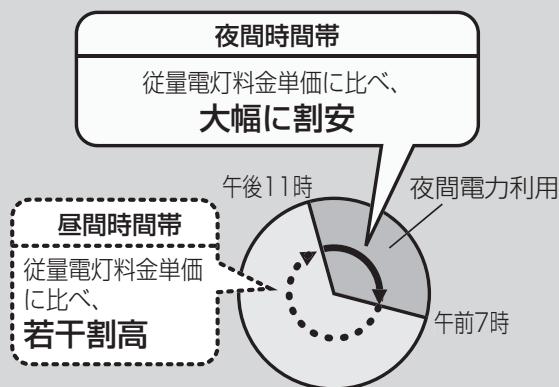
大気の熱を使い、経済的にお湯を沸かします。

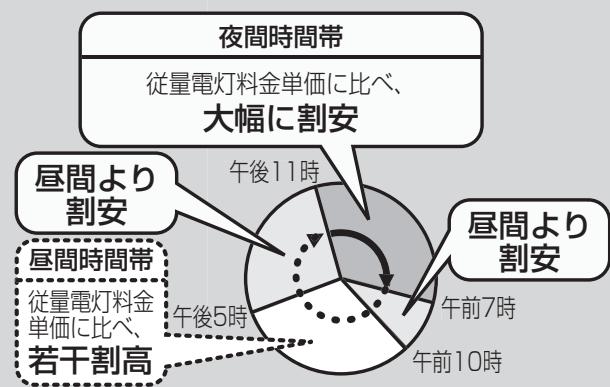
自然冷媒を使ったヒートポンプにより、大気の熱を利用してお湯を沸かします。

電力料金契約が選べます。

この給湯機は契約の種類により、**A** または **B** のいずれかで契約されています。ご確認ください。この給湯機は申請によって通電制御型として料金割引が適用されます。
買い替えの場合でもご使用の前に、お買い上げの販売店または電力会社にお問い合わせください。

※契約を変更したい場合は、お買い上げの販売店または電力会社にお問い合わせください。

A 時間帯別電灯通電制御型

ご家庭で使うすべての電力を、時間帯別電灯専用の積算電力で上図のように2つの時間帯に分けて電力料金を算定します。
※料金の目安や通電時間帯は地域により異なります。

B 季節別時間帯別電灯通電制御型

ご家庭で使うすべての電力を上図のように3つの時間帯と2つの季節に分けて電力料金を算定します。
※電力会社によっては、2つの時間帯と2つの季節に分ける場合もあります。
※料金の目安や通電時間帯は地域により異なります。
※ヒートポンプ給湯機は季節区分の判断はできません。

くらし。

もくじ

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	**注意**「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

してはいけない内容です。	実行しなければならない内容です。

警告

やけどや感電などを防ぐために

漏電しゃ断器は、ぬれた手で操作しない

（感電の原因になります）

漏電しゃ断器は、作動することを定期的に確認する【22ページ】

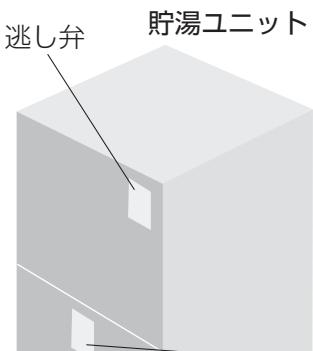
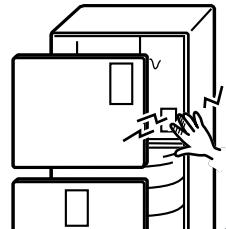
（感電の原因になります）

作動しないときは、販売店にご連絡ください。

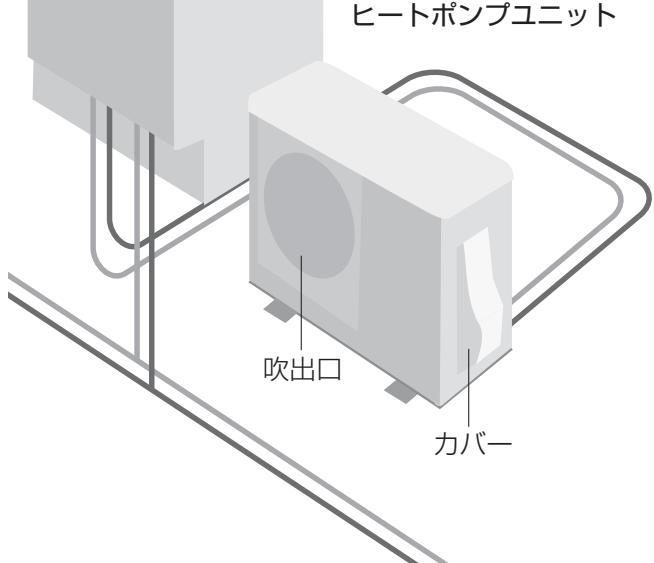
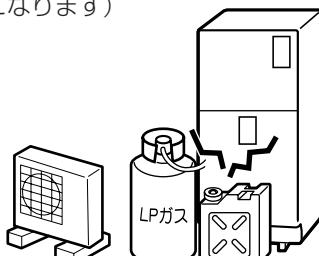
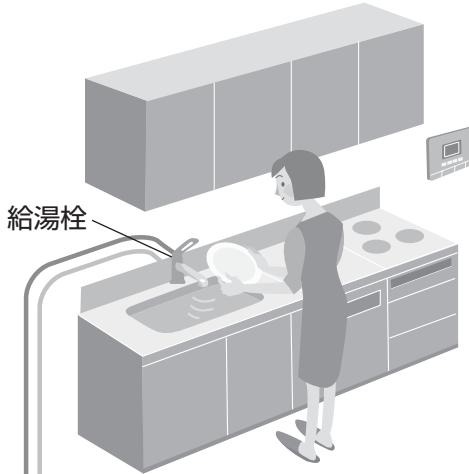
近くにガス類の容器や引火物を置かない

（電気部品のスパークにより引火し、発火の原因になります）

貯湯ユニットの前板やヒートポンプユニットのカバーを開けない

（感電の原因になります）

絶対に、分解や修理・改造をしない

（感電や火災の原因になります）

修理は販売店にご依頼ください。

⚠警告

熱湯や熱くなる部分に触れない（やけどの原因になります）

●給湯時は、給湯栓本体に触れない
●貯湯ユニットの排水時や逃し弁の点検時は、排水配管や排水口、排水エルボ、逃し弁（レバー以外）に触れない【22,23ページ】
●ヒートポンプユニット配管や給湯配管には触れない【9ページ】
●逃し弁の点検時やヒートポンプユニットの水抜き時、非常用取水栓を使用時【35ページ】は、お湯に触れない

ヒートポンプユニットは、誤った扱いをしない

●吹出口に指や棒などを入れない（ファンが高速回転しているため、けがの原因になります）
●上に乗ったり、物を載せたりしない（ベランダなど高い所に設置している場合、落下や転倒によるけがの原因になります）

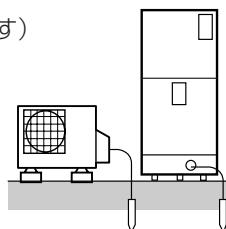
お湯を使うときは、お湯の温度を確認する

（やけどの原因になります）
●入浴時やお湯を使うときは、まず湯温を確かめる
●給湯温度を変えるときは、他の人がお湯を使っていないことを確かめる

停電中および停電復帰後にお湯を使うときは、湯温を確かめる

（湯温調節ができずに、高温のお湯が出ることがあるため、やけどの原因になります）

アース工事がされていることを確認する

（感電の原因になります）
販売店にご確認ください。

異常・故障時には直ちに使用を中止する（発煙・発火、感電、やけどのおそれがあります）

異常・故障例
●漏電しゃ断器が自動的に「切」になる
●使用中に、こげくさい臭いがしたり異常な音や振動音がする
●熱いお湯が出続ける

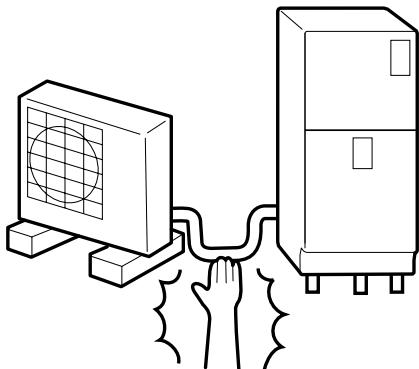
すぐに使用を中止し、漏電しゃ断器を「切」にして、販売店へ点検・修理を依頼してください。

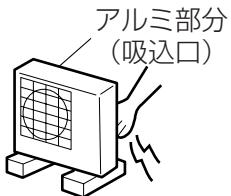
安全上のご注意　必ずお守りください

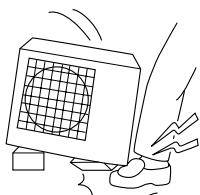
⚠注意

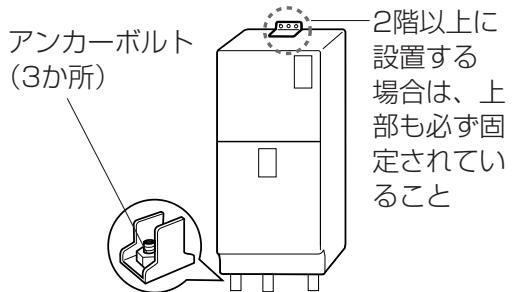
けがや水漏れなどを防ぐために

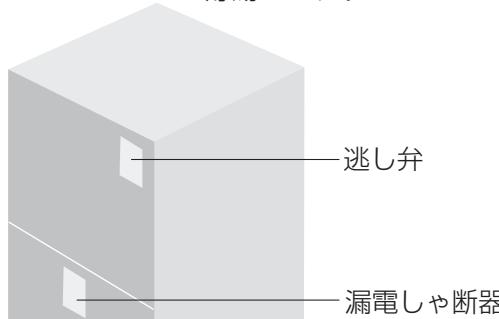
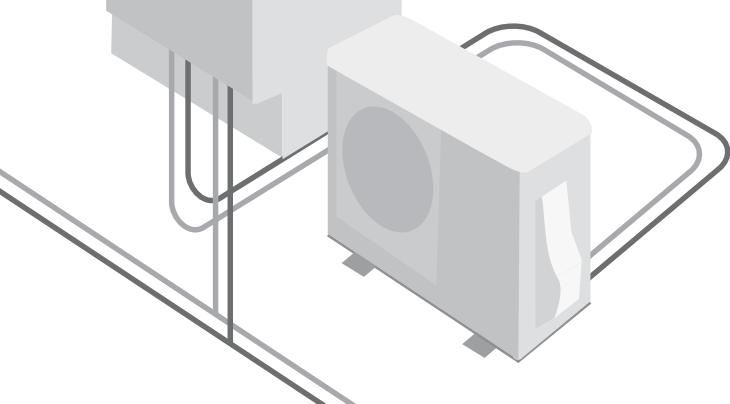
配管に無理な力を加えない

（破損によるやけどや水漏れの原因になります）

ヒートポンプユニットのアルミ部分に触れない

（手を切る原因になります）

ヒートポンプユニットの据付台が破損したまま放置しない

（落下や転倒による、けがの原因になります）

据え付け後は、次のことを確認する

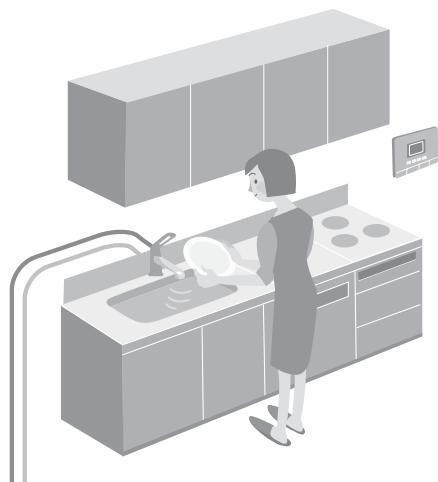
●貯湯ユニットの脚が床面に固定されていること（転倒によるけがの原因になります）
固定されていない場合は、販売店にご依頼ください。

●貯湯ユニットが、防水処理・排水処理済みの床面に設置されていること
（水漏れすると、階下などに被害を及ぼす原因になります）
販売店にご確認・ご依頼ください。

●配管が凍結予防工事済みであること
（冬場など、凍って破損し、やけどや水漏れの原因になります）
販売店にご確認・ご依頼ください。

⚠注意

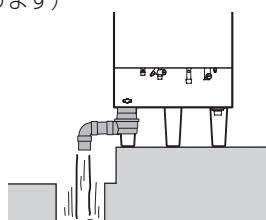
お手入れ時や点検時は、次のことをする

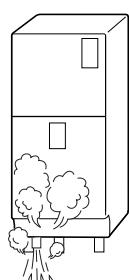
●漏電しゃ断器を「切」にする
（ヒートポンプユニットのファンが高速回転しているため、けがの原因になります）

●お手入れや点検の後は、漏電しゃ断器と逃し弁のふたを閉じる
（雨やごみが入ると、漏電や感電の原因になります）

●逃し弁が作動することを定期的に確認する【22ページ】
（逃し弁が正しく作動しないと、水漏れの原因になります）
作動しないときは、販売店にご連絡ください。

長期間使わないときは、貯湯ユニット・ヒートポンプユニットの水を抜く

【31,32ページ】

（水質変化により、飲用すると健康を害するおそれがあります）

貯湯ユニットの水抜き時は、熱湯を直接排水しない

（やけどの原因になります）
給湯栓よりお湯を出しきってから排水してください。【31ページ】

そのまま飲用しない

長期間のご使用によって貯湯ユニット内に水あかがたまったり、配管材料の劣化等によって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度、沸騰させてからにしてください。

●必ず水質基準に適合した水を使用してください。

●熱いお湯が出てくるまでの水（配管内にたまっている水）は、雑用水としてお使いください。

固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用には使用せずに、直ちに点検の依頼を行ってください。

各部の名前と働き

本体周辺、ヒートポンプユニット、貯湯ユニットの各部の名前と働きをご確認ください。

本体周辺

ヒートポンプユニット

貯湯ユニット

逃し弁点検ふた
ネジをゆるめて手前に開けます。

漏電しゃ断器操作ふた
ネジをゆるめて手前に開けます。

漏電しゃ断器
（電源スイッチ）
入
切
テスト
ボタン

前板

ネームプレート
品番と製造年を記載

※この部分に、安全上のご注意に関する
注意ラベルが貼付されています。

水抜き栓（3か所）

ヒートポンプ配管戻り口

排水栓

非常用取水栓
（缶体保護弁内蔵）

ドレン口（逃し弁排水）

排水口

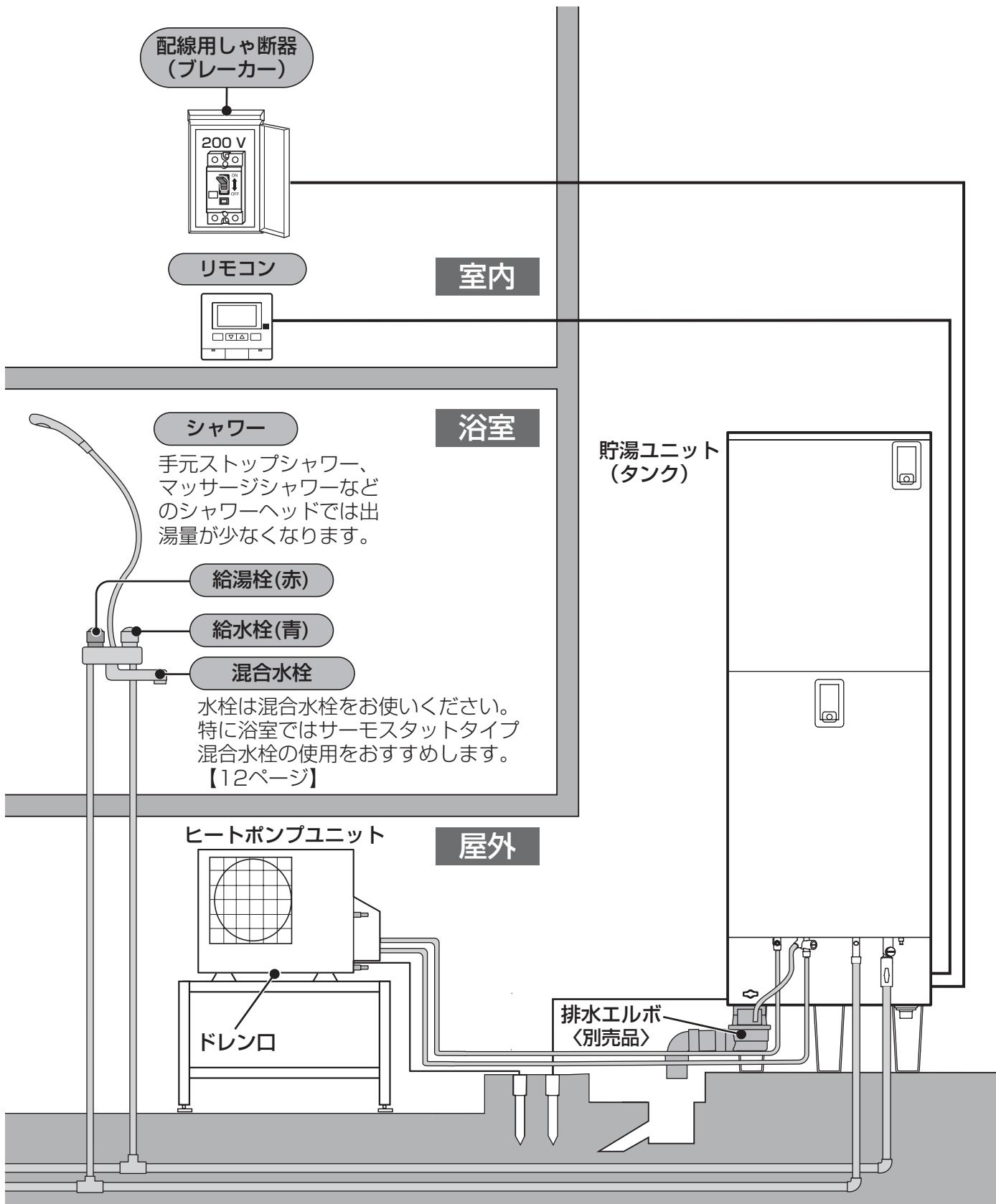
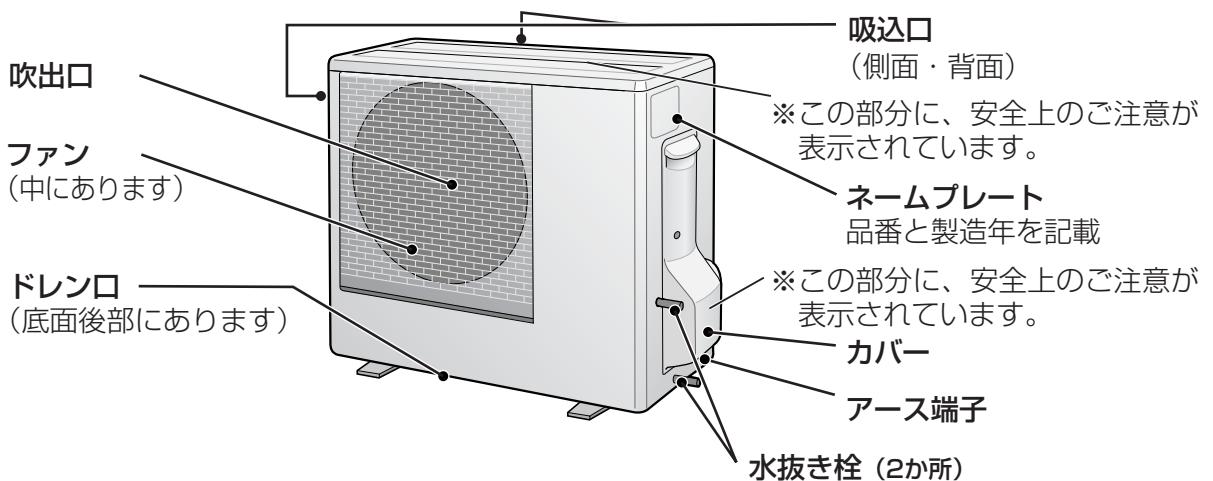
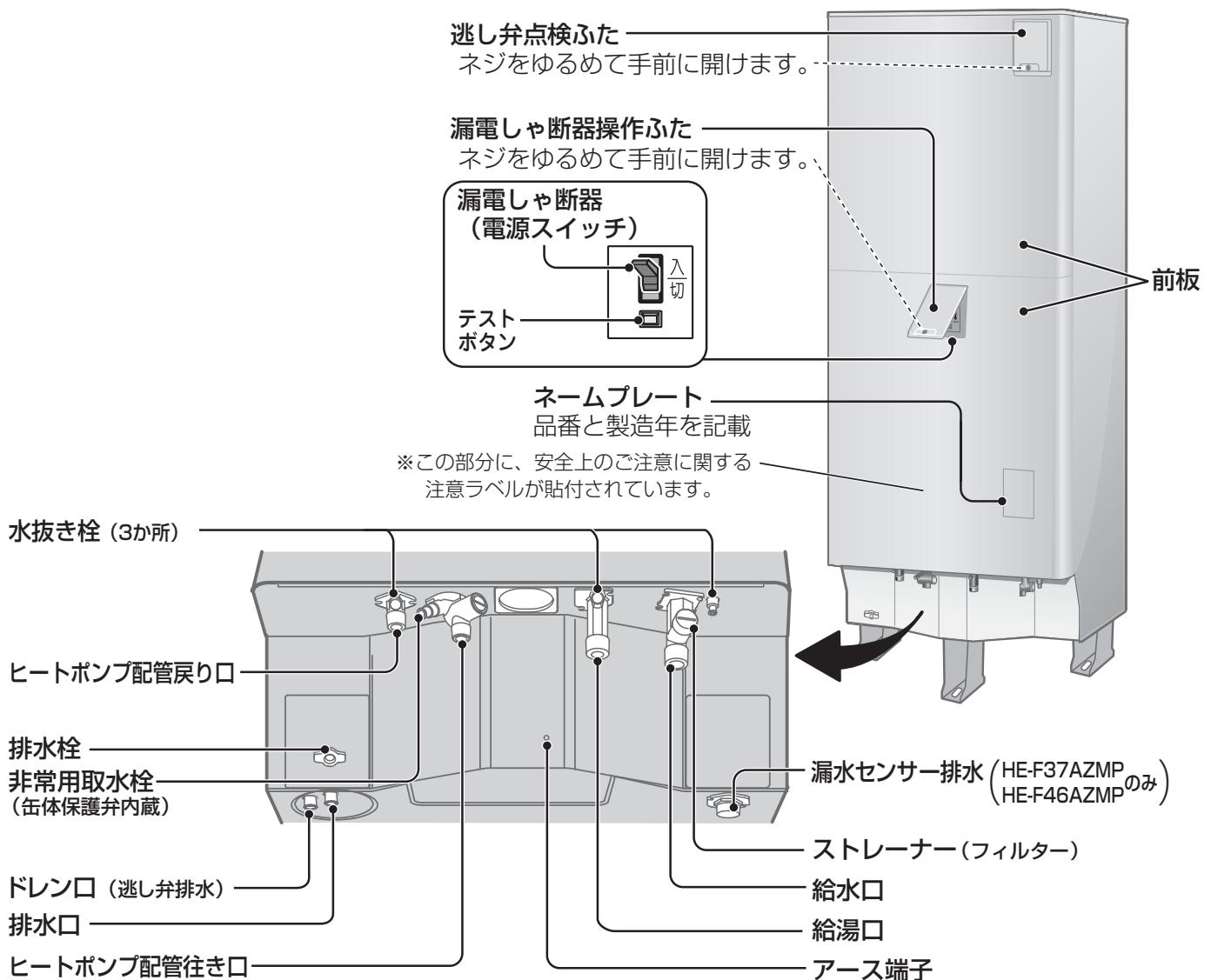
ヒートポンプ配管往き口

漏水センサー排水（HE-F37AZMP HE-F46AZMPのみ）

ストレーナー（フィルター）

給水口

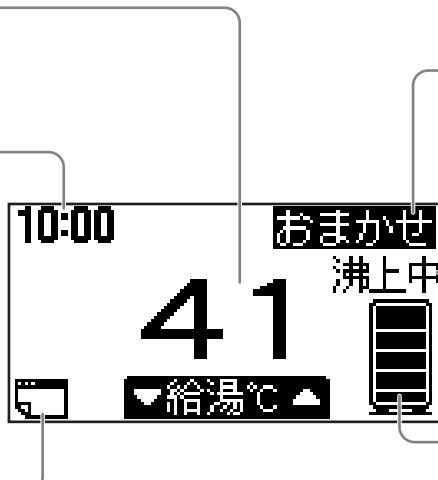
給湯口

アース端子

各部の名前と働き

リモコンの各部の名前と働きをご確認ください。

リモコン

●上記メニュースイッチで設定しようとするメニューを通り越した場合、
　再度、メニュースイッチを押し、画面と音声を確認しながら設定し直してください。

＊画面表示部＊

●上記画面表示は説明のため、すべての内容を表示しています。
●「給湯温度」の数値は目安です。

残湯量表示

（単位：L）

品　番						
HE-F37AZ(M)P	0以上～20未満	20以上～50未満	50以上～120未満	120以上～200未満	200以上～280未満	280以上～370以下
HE-F46AZ(M)P	0以上～20未満	20以上～50未満	50以上～120未満	120以上～200未満	200以上～280未満	280以上～460以下

※湯温約45 ℃以上の残湯量を表示しています。

ご使用前の準備と確認

ご使用前には、次の手順でタンクを満水にし、空気抜き運転をしてください。
販売店（工事店）が実施されている場合は必要ありませんので、ご確認ください。

1.タンクを満水にする　満水にしないと、ヒートポンプ給湯機の運転が停止します。

1 給水元栓を開く

2 排水栓を閉じる
- 右に回すと「閉」になります。

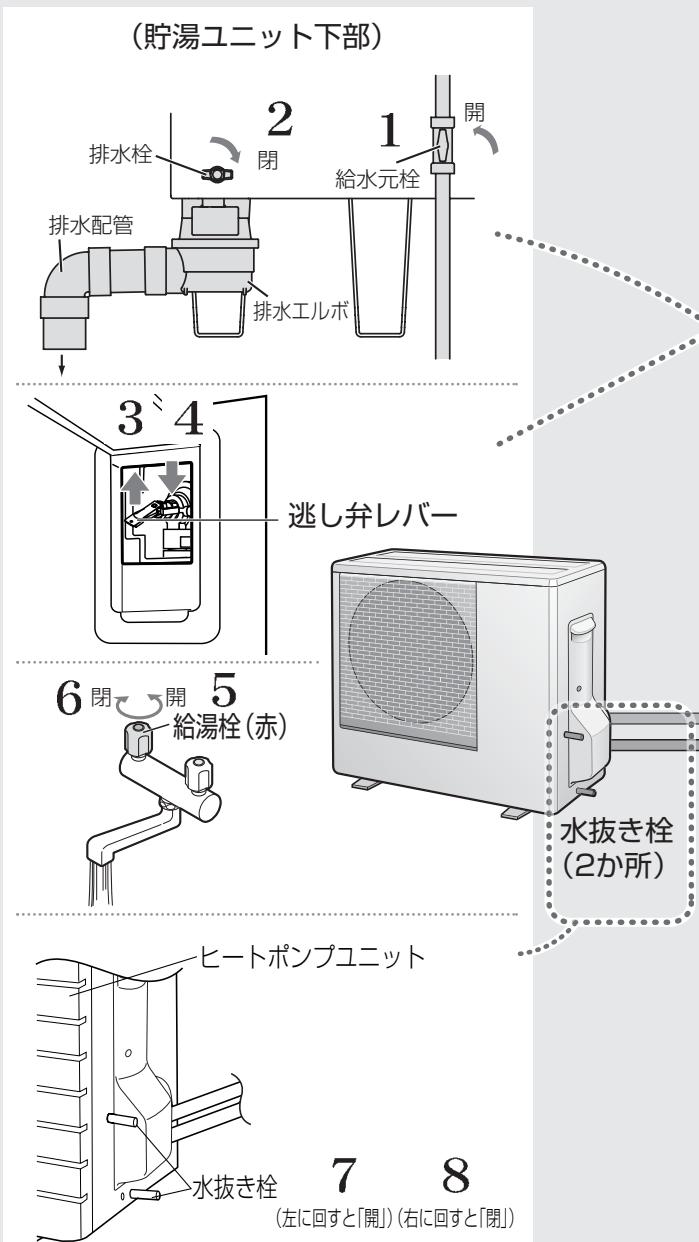
3 逃し弁点検ふたを開け、逃し弁レバーを上げる
- ドレン口または排水配管から水が出始めたら、タンクは満水です。
- 約30〜40分で満水になります。

4 満水になったら逃し弁レバーを下げる

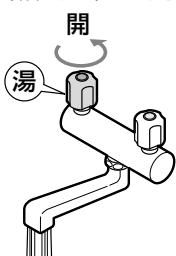
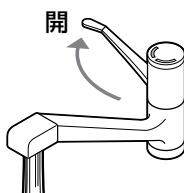
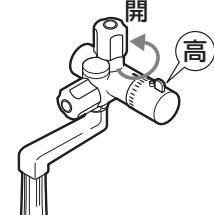
5 混合水栓のお湯側を開く
- 水が出ることを確認してください。
（混合水栓の種類と操作方法は下図参照）

6 混合水栓のお湯側を閉じる

7 ヒートポンプユニットの水抜き栓（2か所）を開ける
- 勢いよく水が出ることを確認してください。
- 1分以上行ってください。

8 ヒートポンプユニットの水抜き栓（2か所）を閉める

混合水栓の種類と操作方法

お湯の出し方は混合水栓のタイプにより異なります。

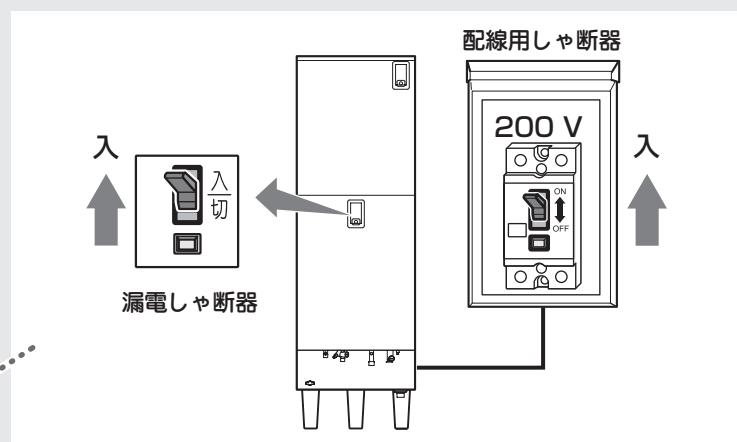
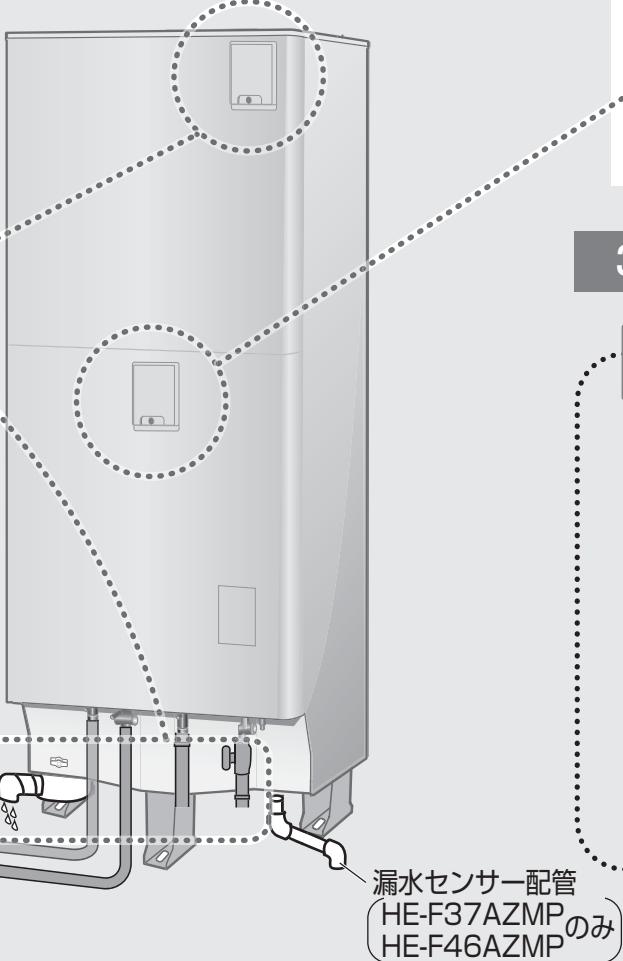
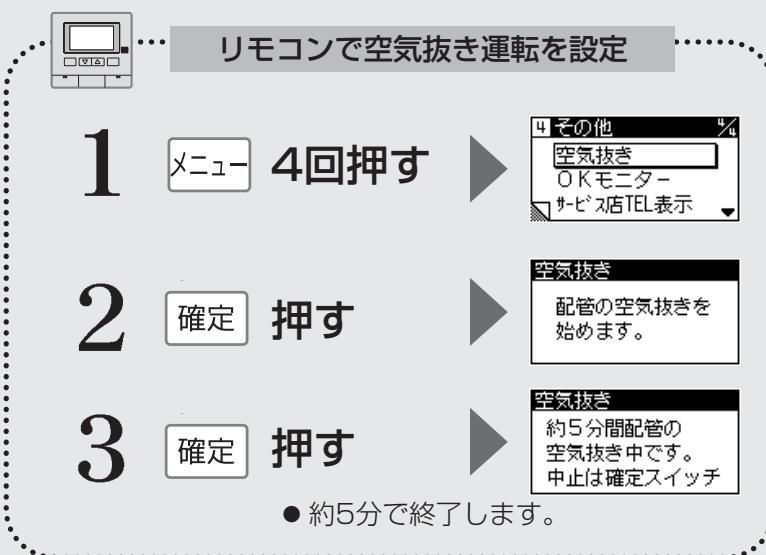
2バルブタイプ
お湯側（給湯栓）を開く

シングルレバータイプ
お湯側にレバーを回す

サーモスタットタイプ
湯温調節つまみを「高」側にして給湯栓を開く

2.電源を入れる

1 配線用しゃ断器（ブレーカー）および貯湯ユニットの漏電しゃ断器を「入」にする

- 漏電しゃ断器操作ふたを閉じてください。

3.配管内の空気を抜く

- 約5分で終了します。

漏水センサー配管（HE-F37AZMP HE-F46AZMP のみ）

4.タンク内の空気を抜く

1 配管内の空気抜き運転終了後、混合水栓のお湯側を開ける

- 勢いよく水が出ることがあります。

2 連続的に水が出るようになったら、混合水栓のお湯側を閉じる

★タンクの水が全量沸き上がるのは翌朝です。

5.リモコンの日時が正しく表示されているか確認する

- 工場出荷時にリモコンの日時を合わせてありますが、大幅にずれている場合は、思わぬ電気料金がかかることがありますので、「日時」を合わせてください。【27ページ】

- タンクが満水でなかったり、配管内に空気が混じっているとヒートポンプ給湯機の運転が停止します。
- リモコンに「試運転ナビ」が表示されたときは、試運転が完了していません。販売店（工事店）にご連絡ください。

お知らせとお願い

ご使用の際にご注意ください。

■湯切れにご注意

- お湯の使用量が多いと湯切れすることがあります。
  - シャワーはこまめに止めてください。
  - 湯切れした場合は、お湯が沸くまで待ってください。
  - 沸き上げ湯量を「節約」または「深夜のみ」に設定している場合は「おまかせ」または「たっぷり」に変更してください。【28,29ページ】
- リモコンの「残湯量表示」が少なくなると、使用できるお湯の量がわずかになっています。【11ページ】

■お湯を使う前に

やけど防止のため、混合水栓の湯温調節つまみを「低」側にしてから給湯栓を開き、お湯を使用してください。

■貯湯ユニットに、磁石（マグネット）を近づけないでください。

おふろへの給湯ができなくなるなど、故障の原因になります。

■タオル、浴そうなどが青くなることがあります

使用地域の水質や、給湯機の銅配管により薄青くなることがあります。これは、水中に溶け出たわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応したもので、人体に害はありません。
参考：（社）日本銅センター発行「銅と衛生」

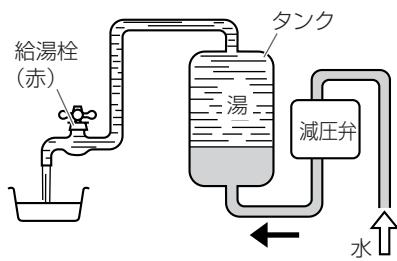
● タオルは…

→70～80℃のお湯に、1割くらいの食酢を混ぜて浸しておく。

● 浴そうやタイルは…

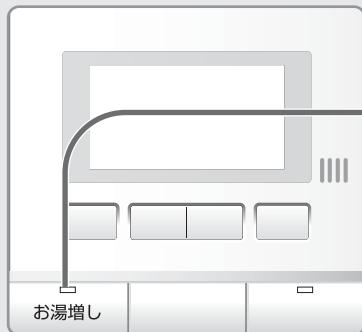
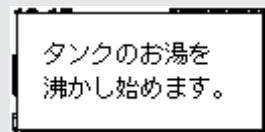
→市販の浴室用洗剤（取れにくいときは、油汚れ専用洗剤）を使ってこまめに掃除する。

■お湯が出るしくみ

- タンクは、減圧弁で一定の水圧に調整され、常に満水状態になります。
- 給湯栓（赤）を開くと、タンク下部の給水口より自動的に給水され、タンク内のお湯は水道水の圧力で押し出されます。

知っておいてください

安全、便利にお使いいただくための内容です。

すぐにタンクのお湯を沸かし始めたいとき

■急な来客などで多くのお湯が必要なときや、お湯が不足しそうなときに［お湯増し］を押すとタンクのお湯を沸かし始めます。24時間経過すると自動的に取り消されます。（切り忘れ防止のため）

■取り消したいとき…再度［お湯増し］を押す

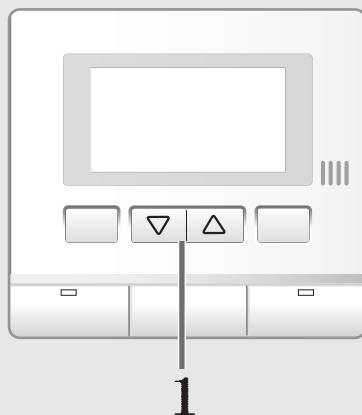
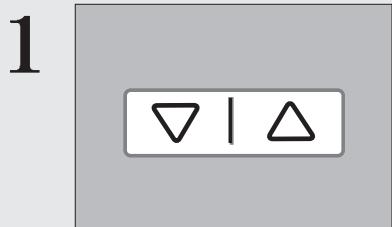
- ♪「ポロロ」
- 「沸上中」表示消灯。

「1日に沸かす湯量」【29ページ】の設定や時間帯によっては、お湯を沸かし続け「沸上中」表示が消灯しない場合があります。

お湯を出す

やけど防止のため、給湯温度を変更するときは、他の蛇口でお湯を出していないか確認してから変更してください。【5ページ】

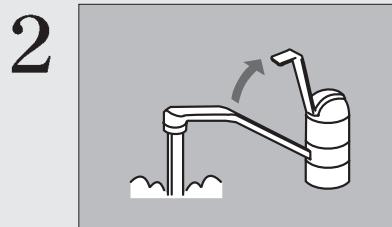
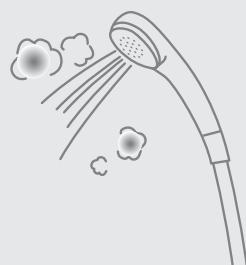
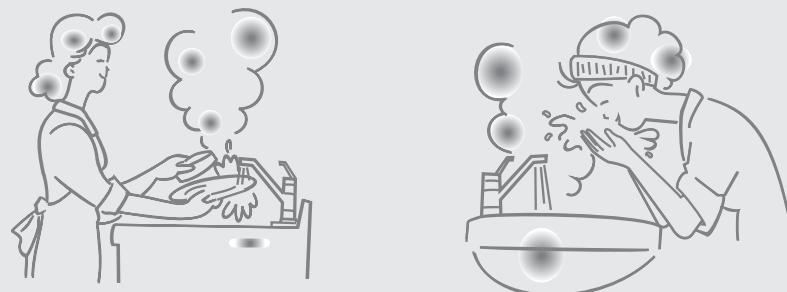
〈給湯温度を変更する場合〉

1

給湯温度を設定する

●お湯の温度は水・32・35・38～45・46・47・60 ℃に設定できます。

●60 ℃に設定した場合

「蛇口、シャワーからあつい お湯が出ます、ご注意ください」

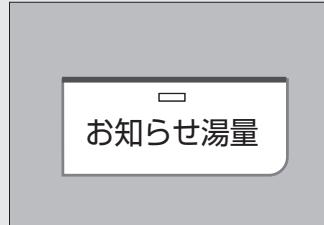
2

給湯栓を開ける

- サーモスタットタイプの混合水栓では、混合水栓側で設定したお湯の温度に上がらない場合があります。リモコンの給湯温度設定は混合水栓側の温度設定よりも10 ℃以上高くしてください。

- 給湯温度の数値は目安です。蛇口、シャワーなどの湯温とは多少異なる場合があります。
- 混合水栓のタイプによっては、蛇口いっぱい開いても、蛇口から出るお湯の量が少なくなる場合があります。その時はお湯の温度設定を60 ℃にし、水と混合してご使用ください。
- 浴そうへのお湯はり中は、蛇口、シャワーから出るお湯の量が少なくなる場合があります。
- [△] を押し続けると、45 ℃設定で止まります。[△] を更に押すと46 ℃・47 ℃・60 ℃に変わります。
- 台所などで少ししかお湯を出していないときは、水になります。
- シャワーを確実に止めずに、再びシャワーを出したときは、水になったりします。

お湯はりをする

準備：浴そうの栓をしてふたをしてください。

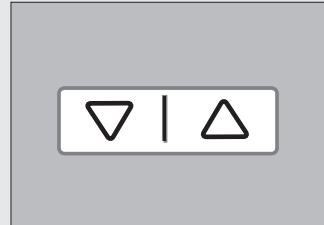
リモコン

1

押す

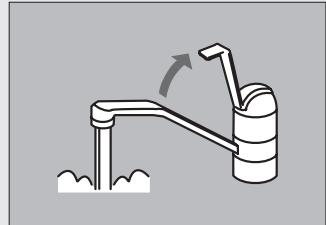
●ランプ点灯。

「お湯はり量をお知らせします」

〈設定湯量を変更する場合〉

2

湯量を設定する

●40 L～500 Lの範囲で10 Lきざみに設定できます。

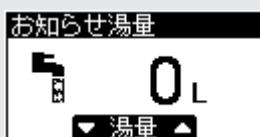
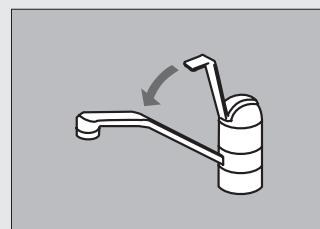
3

おふろの給湯栓を開ける

■お湯はり完了すると

●♪（メロディー）

「お湯はりが終わりました、
お湯を止めてください」

●お知らせ湯量の表示は、ふろのお湯が設定した湯量になると「0」になり点滅します。

●お湯はり完了前後、残湯量が少なくなった場合や湯温が低くなった場合、「沸上中」が表示し、沸き上げる場合があります。（1日に沸かす湯量の設定が「深夜のみ」以外のとき）

4

給湯栓を閉める

●給湯栓を閉めるまで

「お湯を止めてください」

とお知らせします。

●ランプ消灯。

● 設定湯量とは、給湯機より出るお湯の量です。
● 湯水混合で使用する場合は、設定湯量より多くお湯はりされます。湯水混合量に応じて湯量を設定してください。
● お湯はり中に、他でお湯を使用すると、浴そうへの湯量が少なくなります。

お手入れ

次の要領で行ってください。

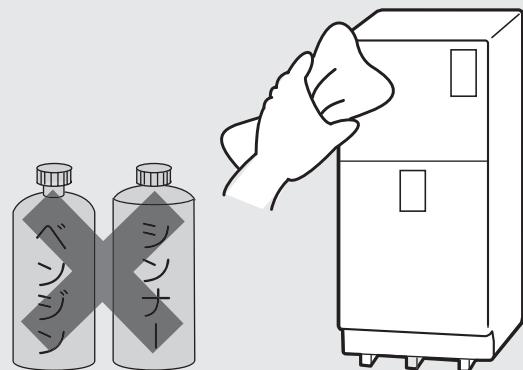
リモコン

乾いた布または水をつけた布をかたく絞り、軽くふきとってください。

- ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。（変形・変色の原因）
  汚れのひどいときは、中性洗剤をうすめて布に含ませてふいてください。
- リモコン内部には電気部品が入っています。水や汚水が入らないようにしてください。

貯湯ユニット・ヒートポンプユニット

乾いた布でふくか、中性洗剤をうすめて布に含ませてふいてください。

- ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。（変形・変色の原因）

タンク（年に2～3回）

- 残湯量が少ないときに行ってください。
- 下記の手順で操作してください。タンクの底の湯あかなどが掃除できます。

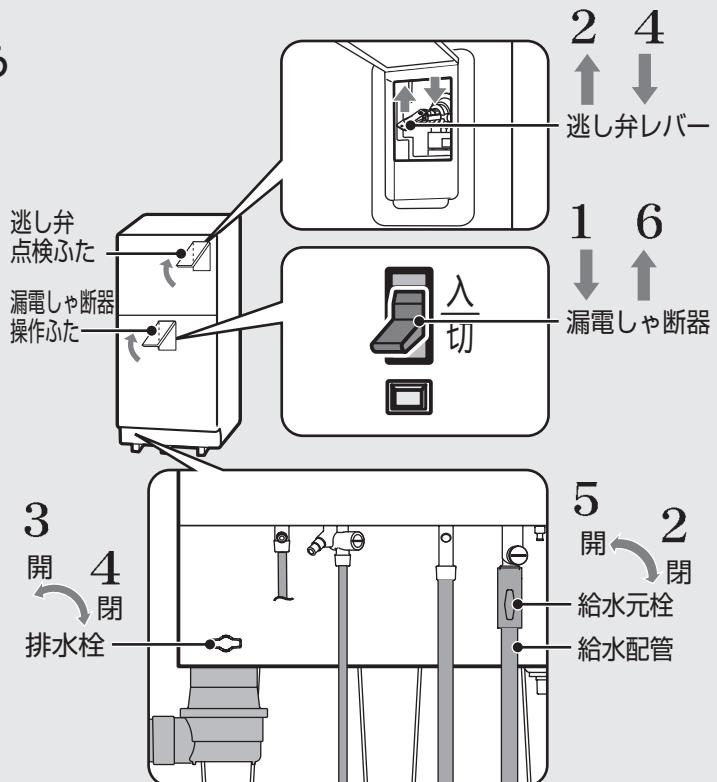
1 漏電しゃ断器操作ふたを開け、
漏電しゃ断器を「切」にする

2 （貯湯ユニット下部～給水配管）（貯湯ユニット）
給水元栓を閉め、逃し弁レバーを上げる
※給水元栓は給水配管と貯湯ユニットの間にあります。

3 （貯湯ユニット下部）
排水栓を開けて約2分間排水する
※お湯が出てくる場合があります。やけどにご注意ください。

4 **排水栓を閉め、逃し弁レバーを下げる**

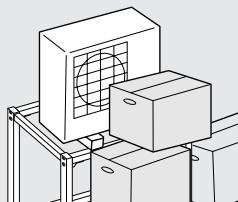
5 **給水元栓を開ける**

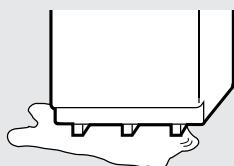
6 給湯栓（赤）を開き、水（お湯）が出ることを確認後
漏電しゃ断器を「入」にし、
漏電しゃ断器操作ふたを閉める

点検

安心してお使いいただくために、点検を行ってください。

貯湯ユニット・ヒートポンプユニット（日常）

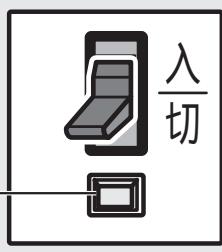
■ヒートポンプユニットの吸込口や吹出口をふさいでいないか確認する

- 能力低下や故障の原因になることがあります。

■貯湯ユニットを設置した床面に水が漏れていないか確認する

- 特に集合住宅では漏水により階下へ被害をおよぼす場合があります。

漏電しゃ断器の作動（年に2〜3回）

1 漏電しゃ断器操作ふたを開け、
テストボタンを押す

2 **漏電しゃ断器が「切」になることを確認する**

3 **漏電しゃ断器を「入」にし、漏電しゃ断器操作ふたを閉める**

（漏電しゃ断器）

逃し弁（年に2〜3回）

作動点検

1 逃し弁点検ふたを開け、
逃し弁レバーを上げる

2 **ドレン口または排水配管（右下図）からお湯が出ることを確認する（約10秒間）**

- お湯が出ますので、やけどに注意してください。

3 **逃し弁レバーを下げ、お湯が止まることを確認する**

4 **逃し弁点検ふたを閉める**

水漏れ点検

1 **リモコンに「沸上中」と表示していないことを確認する**

2 **ドレン口または排水配管からお湯が出ていないかを確認する**

▶ ドレン口または排水配管からお湯が出ている場合は…

逃し弁レバーを数回上下に動かし、お湯が止まるかを確認してください。

※上記の操作を行ってもドレン口または排水配管からお湯が出つづけている場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

沸き上げ運転中は、水からお湯になるときの膨張水が、排水配管またはドレン口より排出されますが、故障ではありません。

定期点検が必要です

ヒートポンプ給湯機を長期間にわたり、安全で快適にご使用いただくために、逃し弁、減圧弁など3年に1回程度、専門技術者による定期点検整備を行ってください。
逃し弁、減圧弁など、設置条件、使用条件、特殊環境によっては劣化しやすい消耗部品があり、定期的な点検が必要です。
長期間（10年程度）使用されている場合は、毎年「定期点検」をお受けください。ただし補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後9年となっており、部品によってはご用意できない場合がありますので、ご容赦願います。

■ 定期点検整備契約の実施について

- **お申込み先** ――― お買い上げの販売店
- **点検整備内容** ―― 安全性の点検整備･システム機能の点検整備（配管など）･消耗･劣化しやすい部品の交換
- **定期点検費用** ―― 定期点検整備は、お客様のご負担によって実施します。

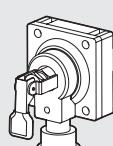
■ 定期点検整備の主な内容

項　　目	点検整備の内容
据付状態の点検	● 配管接続部の水漏れ確認　● 電気絶縁チェック
	● 配管保温材の確認　● 設置面の確認
機能部品の点検	● 逃し弁の水漏れ確認　● ポンプの点検　● 減圧弁の点検
	● 給水しゃ断弁の点検（屋内用のみ）
	● 電気部品（配線、導通）動作の確認
清掃・整備	● タンク下部のスケール沈殿物の排出　● 減圧弁、ストレーナー（フィルター）の清掃
	● 機能部品の清掃

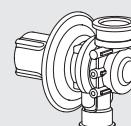
消耗部品について

逃し弁、減圧弁は消耗部品です。使用水質によっては、3年程度で消耗・劣化しやすい部品があります。
点検の結果、部品交換が必要な場合、交換に要する費用は、お客さまにご負担いただきます。【46ページ】

逃し弁

使用水質によっては、弁摺動部にスケールが付着したり、弁座シート部が磨耗して水漏れの原因になりますので交換が必要です。

逃し弁

減圧弁

使用水質によっては、減圧弁のダイヤフラム（ゴム製）や弁摺動部にスケールが付着したり、弁座シート部が磨耗して水漏れの原因になりますので交換が必要です。

減圧弁

設定を変えたいとき

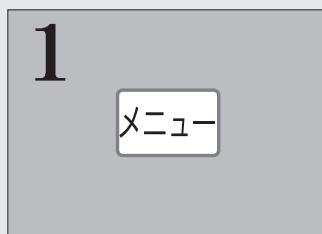
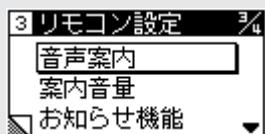
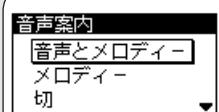
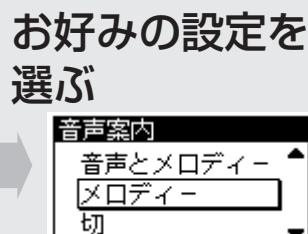
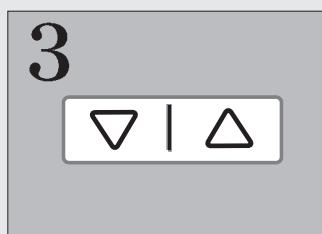
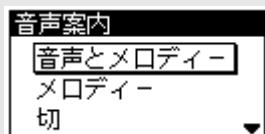
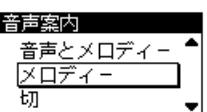
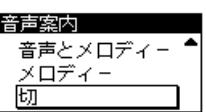
リモコンの設定を変更できます。

音声案内

工場出荷時は「音声とメロディー」に設定しています。

1 3回押す

2 押す

3 お好みの設定を選ぶ

音声とメロディーでお知らせします　メロディーだけでお知らせします　音声とメロディーを消します

4 押す

案内音量

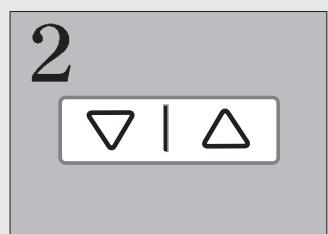
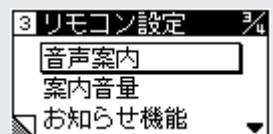
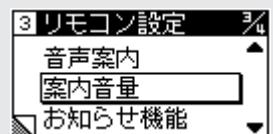
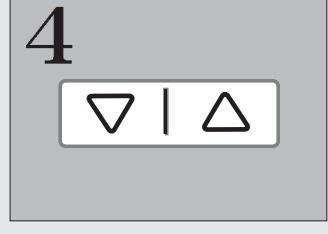
工場出荷時は音量「2」に設定しています。

1 3回押す

2 「案内音量」を選ぶ

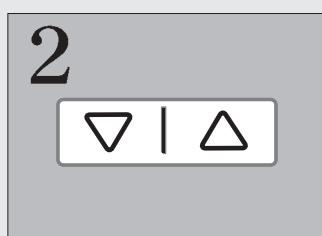
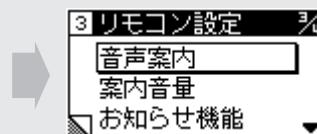
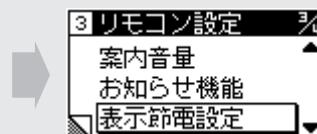
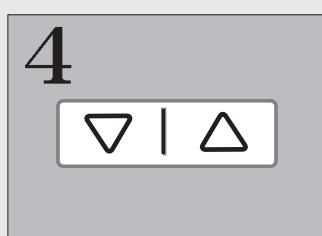
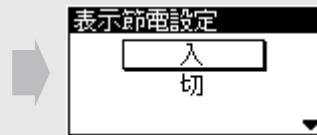
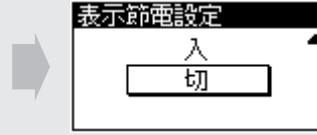
3 押す

4 音量を設定する

音量小　音量中　音量大

5 押す

表示節電設定

工場出荷時は節電のため「入」に設定しています。

3回押す

「表示節電設定」を選ぶ

押す

「入」または「切」を選ぶ

表示節電設定を「入」にすると、リモコンの操作をしていないときや、お湯を出していないときに表示を切り替え節電します。

「入」:約1分後に表示部が暗くなります。ただし、給湯温度の設定が60 ℃のときは暗くなりません。
「切」:表示部は暗くなりません。

押す

設定を変えたいとき

リモコンの設定を変更できます。

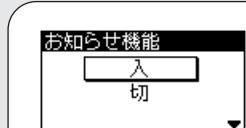
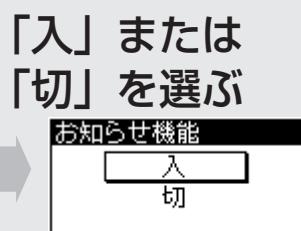
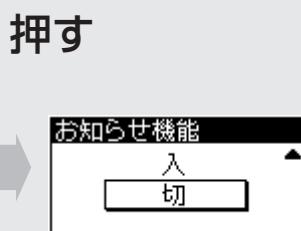
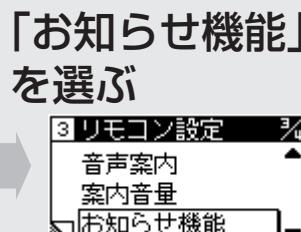
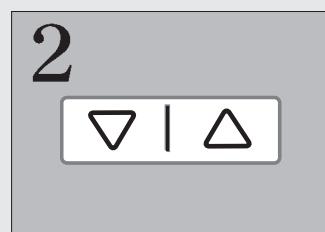
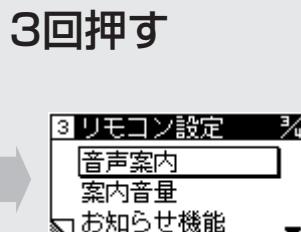
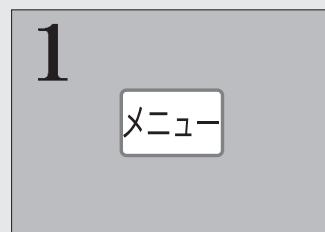
お知らせ機能

お手入れ情報や使い方を知ることができます。
工場出荷時は「切」に設定しています。

3回押す

「お知らせ機能」を選ぶ

押す

「入」または「切」を選ぶ

「入」:各種スイッチ操作後、適時表示されます。

(お知らせ表示例)

5 確定

押す

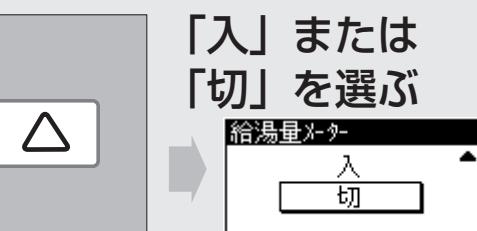
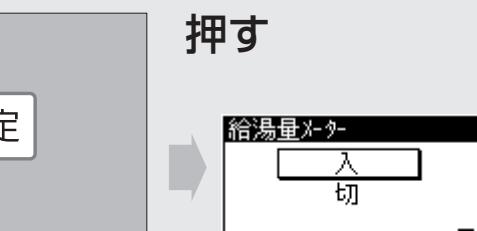
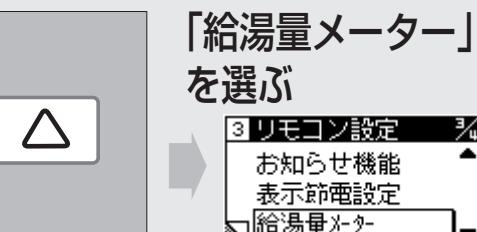
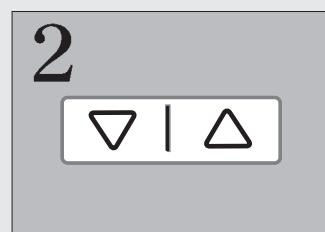
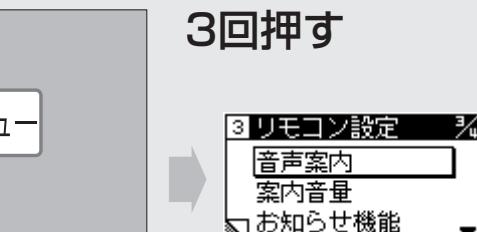
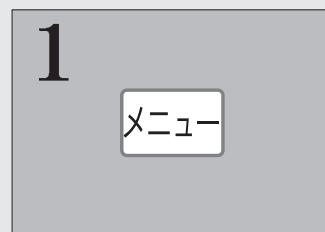
給湯量メーター

当日のお湯の使用量を知ることができます。
工場出荷時は「入」に設定しています。

3回押す

「給湯量メーター」を選ぶ

押す

「入」または「切」を選ぶ

「入」:給湯栓を開けると下の画面が表示され、当日の使用湯量を知ることができます。

(開時)

(閉時)

5 確定

押す

日時を合わせる

日時設定はご使用に応じた正しい電力料金算定に必要です。工場出荷時にリモコンの日時を合わせてありますが、念のためにご確認ください。設定がずれている場合は、次の手順で「日時」を合わせてください。

リモコン

メニュー　▽ | △　確定

1　2・4・6　3・4・5・7

1 メニュー

3回押す

3 リモコン設定 3/4
音声案内
案内音量
お知らせ機能

2 ▽ | △

「日時設定」を選ぶ

3 リモコン設定 3/4
表示節電設定
給湯量メーター
日時設定

3 確定

押す

日付設定
2008年 9月 23日
▼ 年 ▲

4 ▽ | △ ▶ 確定

年・月・日を合わせる

日付設定
2008年 9月 23日
▼ 年 ▲

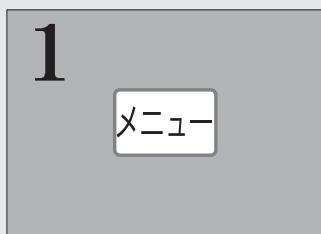
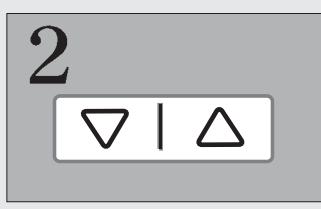
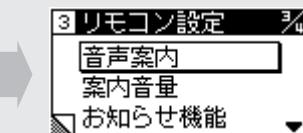
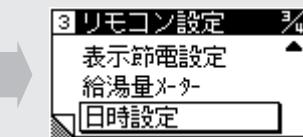
確定

日付設定
2008年 10月 23日
▼ 月 ▲

確定

日付設定
2008年 10月 1日
▼ 日 ▲

5 確定

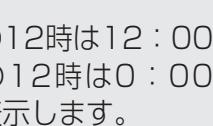
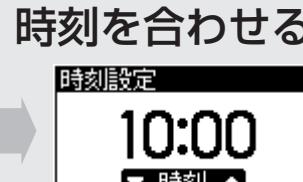
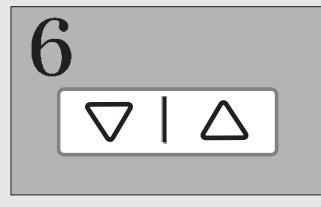
押す

時刻設定
0:00
▼ 時刻 ▲

●昼の12時は12：00
夜の12時は0：00
と表示します。

時刻を合わせる

押す

●押さない場合は確定しません。

お知らせ

- 正しく日時を合わせても大幅にずれる場合は、販売店にご相談ください。
- 停電時でも再設定の必要はありません。（通電のない場合でも、約5年間記憶しています）リモコンの時刻表示部が“0 00”点滅しているときは、リモコンの 確定 を押してください。【36ページ】
- 時刻設定時、▽ | △ を1回押すと1分ずつ変わり、押し続けると10分ずつ変わります。

設定を変えたいとき

ご使用状況に応じて、必要な場合、変更してください。

お湯の使用量

前日までの使用湯量、使用パターンを表示できます。
当日の使用湯量の表示は給湯量メーター【26ページ】で表示できます。節約の参考にしてください。

1 メニュー

1回押す

2 ▽ | △

表示したい項目を選ぶ

前日の使用湯量
12月25日
550 L

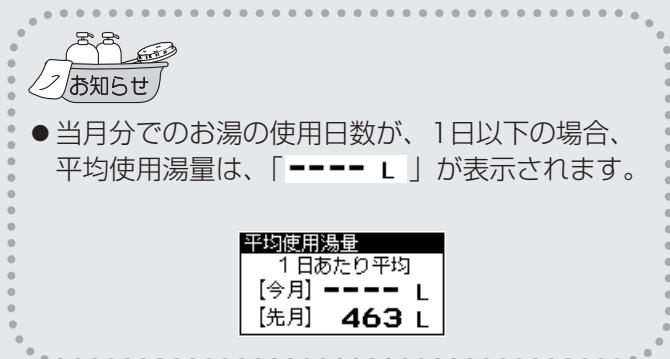
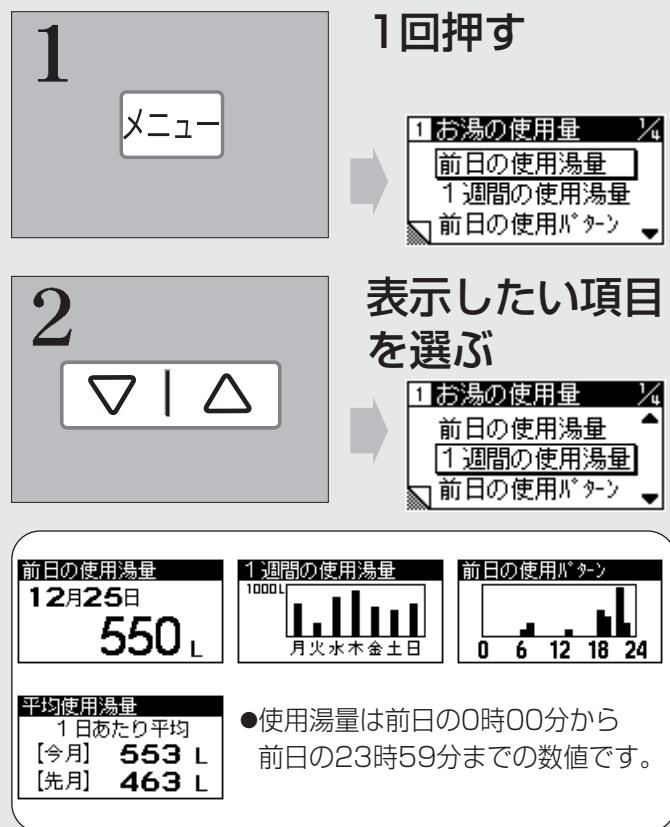
平均使用湯量
1 日あたり平均
[今月] 553 L
[先月] 463 L

●使用湯量は前日の0時00分から前日の23時59分までの数値です。

3 確定

押す

●当月分でのお湯の使用日数が、1日以下の場合、平均使用湯量は、「---- L」が表示されます。

平均使用湯量
1 日あたり平均
[今月] ---- L
[先月] 463 L

「おまかせ」「たっぷり」「深夜のみ」「節約」の4通りから選べます。
工場出荷時は「おまかせ」に設定しています。

1 メニュー

2回押す

2 確定

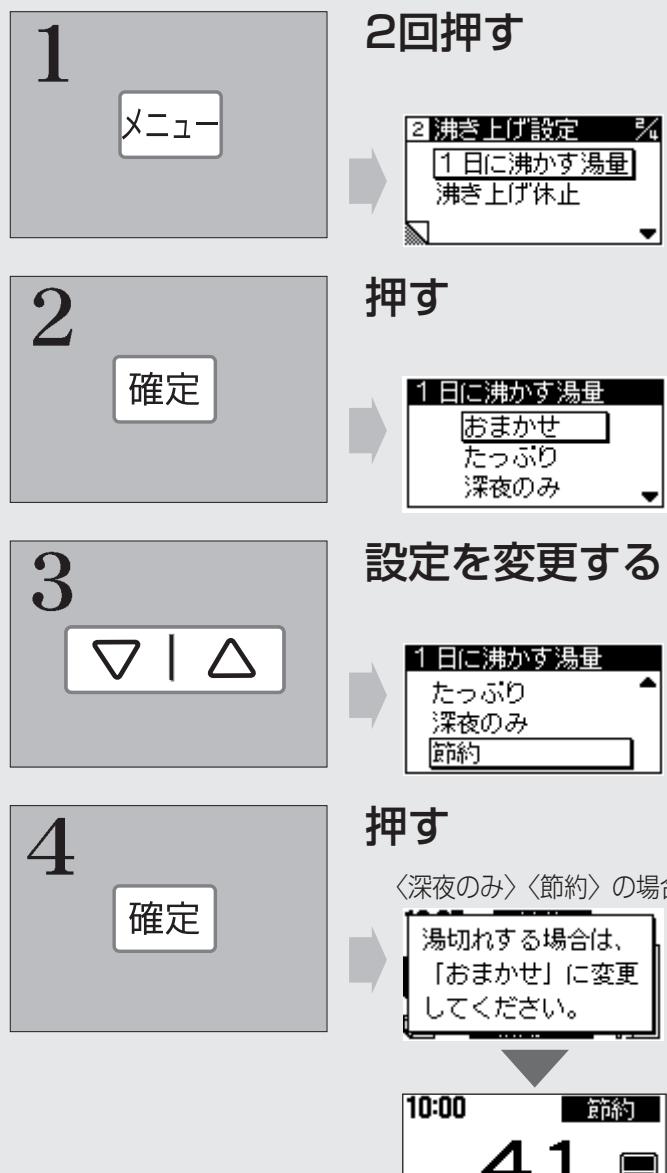
押す

3 ▽ | △

設定を変更する

4 確定

押す

〈深夜のみ〉〈節約〉の場合

1日に沸かす湯量

＊1日に沸かす湯量の設定＊

<table>
<tr><th>湯量</th><th colspan="2">こんなときに</th></tr>
<tr><td>おまかせ</td><td colspan="2">おすすめの設定
お湯の使用量に応じて沸かす湯量を自動的にコントロールします。
工場出荷時はこの設定になっています。</td></tr>
<tr><td>たっぷり</td><td colspan="2">多量のお湯を連続して使用するとき
最大の能力で沸かして、湯切れを防止します。
ただし、電気代は高めになります。</td></tr>
<tr><td>深夜のみ</td><td>夜だけ沸かしたい
夜間時間帯のみ沸かします。
湯切れが続く場合は「おまかせ」に変更してください。</td><td rowspan="2">お湯が不足しそうな場合
⇒ お湯増し を押すとタンクのお湯を沸かし始めます。【15ページ】</td></tr>
<tr><td>節約</td><td>お湯の使用量が少なくて、電気代をさらに節約したい
お湯の使用量に応じて、夜間時間帯に沸かす湯量を少なくして自動的にコントロールします。湯切れが続く場合は「おまかせ」に変更してください。
お湯の使用量が多い場合は、昼間にお湯を沸かすため、電気代が高くなる場合があります。</td></tr>
</table>

※お湯のご使用量によっては昼間に沸き上げ運転をする場合があります。
（「深夜のみ」以外の設定）

■「おまかせ」でお湯があまる場合

⇒「おまかせ」で使い始めは、お湯切れ防止のため、最大のお湯を沸かし、学習を始めます。数日使っても、お湯があまる場合は、「おまかせ」→「深夜のみ」→「おまかせ」に変更してください。昼間の沸き上げ運転を最少にして学習を始めます。

■夜間時間帯のみ沸かしたい場合

⇒「深夜のみ」に設定してください。

長期間使わないとき

タンクにお湯を沸かさない期間を1～15日の間で設定できます。

沸き上げ休止をする

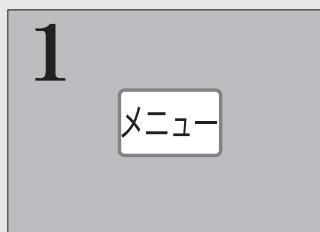
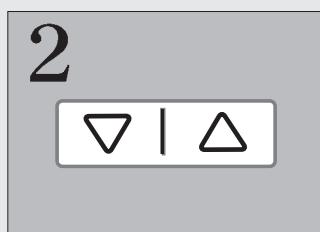
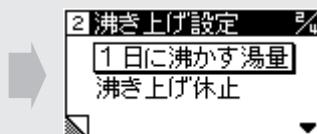
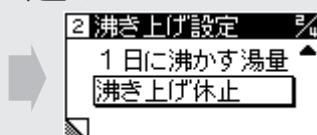
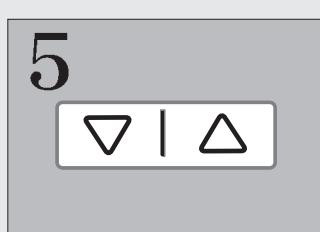
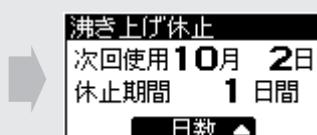
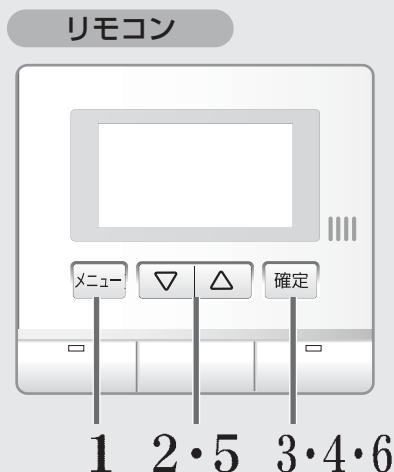
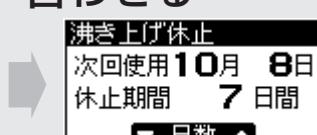
外気温が低い場合は、沸き上げ休止の設定を行っていても、凍結予防のため、タンクのお湯を沸かすことがあります。

押す

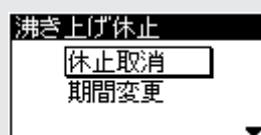
●次回使用日の前日からお湯を沸かします。

「休止期間」を合わせる

押す

●休止中表示点灯。

■休止を取り消したいとき

①休止中に手順1～3を行う

②「休止取消」を選び 確定 を押す

■休止期間を変更したいとき

①休止中に手順1～3を行う

②「期間変更」を選び 確定 を押す

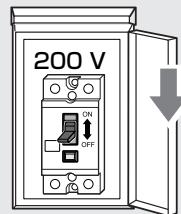
③休止期間を変更し 確定 を押す

電源を切っておくときや、1か月以上使わないときは、水抜きをしてください。

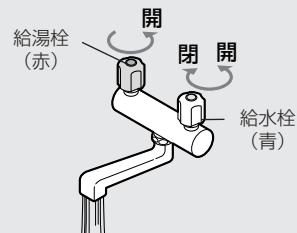
水抜きをする

配管の凍結防止およびタンク内を清潔に保つために行います。
貯湯ユニットの水抜き、ヒートポンプユニットの水抜きの手順で行ってください。

1.貯湯ユニットの水抜き

1　配線用しゃ断器（ブレーカー）、貯湯ユニットの漏電しゃ断器を「切」にする

漏電しゃ断器
（貯湯ユニット操作部）

2　貯湯ユニット内のお湯（水）をすべて排水する

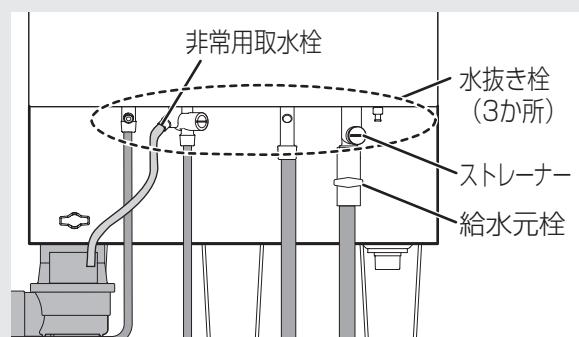
①混合水栓の給湯栓（赤）、給水栓（青）を開き、水と混合しながらあついお湯が出なくなるまでお湯を出す。（貯湯ユニット内を水にする）
②給水栓（青）を閉じる。
③給水元栓を閉じる。
④逃し弁点検ふたを開けて、逃し弁レバーを上げる。
⑤排水栓を開き排水する。
（約1時間かかります）
- 混合水栓タイプによって水栓の操作は異なります。【12ページ】

3　排水栓から水（お湯）が出なくなったのを確認して、混合水栓の給湯栓（赤）、排水栓を閉じる

4　給水元栓が閉じていることを確認する

5　水抜き栓（3か所）、非常用取水栓およびストレーナーを左に回してゆるめ、水を抜く

- あついお湯がでることがありますので、ゆっくり回してください。やけどにご注意ください。

6　水抜き栓から水が出なくなったら
水抜き栓、非常用取水栓およびストレーナーを閉める

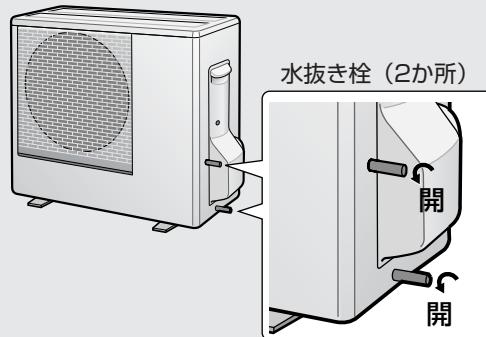
7　逃し弁レバーを下げ、逃し弁点検ふたを閉める

長期間使わないとき

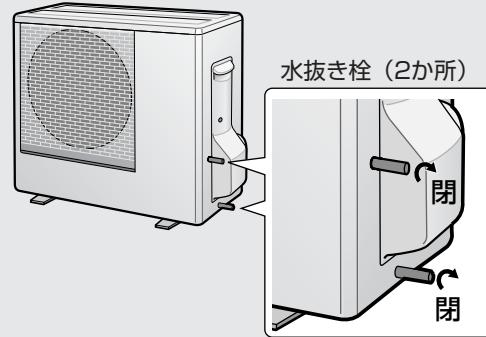
電源を切っておくときや、1か月以上使わないときは、水抜きをしてください。

2.ヒートポンプユニットの水抜き

貯湯ユニットの水抜きが完了した後に行ってください。

1 ヒートポンプユニットの水抜き栓（2か所）を左に回して開く

- お湯が出ますので、やけどにご注意ください。
- 2個の水抜き栓は同じ形状です。

2 水抜き栓から水が出なくなったら ヒートポンプユニットの水抜き栓（2か所）を閉める

- 2個の水抜き栓は同じ形状です。

▶再びご使用になるときは…「ご使用前の準備と確認」【12,13ページ】に従ってください。

凍結のおそれがあるときは

0 ℃以下になると配管が凍結するおそれがあります。
※電源を切っておくときや、1か月以上使わないときは「長期間使わないとき」【31,32ページ】に従い、水抜きをしてください。

漏電しゃ断器を「入」にしておく

1 水抜きをせずに、漏電しゃ断器を「入」のままにしておく

漏電しゃ断器
（貯湯ユニット操作部）

外気温度が約3 ℃以下になると、凍結予防のため、自動的にポンプが作動し、貯湯ユニットとヒートポンプユニットの接続配管にお湯または水を循環させせます。（沸き上げ中でなくても作動します）

停電したときは

停電時は湯温のコントロールができないため、あついお湯がでることがあります。ご注意ください。

リモコンの時刻表示部が“0 00”で点滅している場合

リモコンの

確定 押す　●現在時刻の表示にもどります。

沸き上げ運転中に停電した場合

停電復旧後、沸き上げ運転を再開します。(停電が長時間の場合は、設定湯量まで沸き上がらないことがあります)

断水したときは

地震などの災害時や断水時に市販のホースを使い、タンク内の水を生活用水としてお使いください。

断水が復旧したら　生活用水として使用した場合は、ページ末の★印にも従ってください。

すぐにお湯を使うとタンク内に配管内の汚れが入るおそれがあります。
給水栓（青）をあけて、水を十分出して、汚れがなくなってからお使いください。

タンク内の水を生活用水として使う場合　飲用はさけてください

1 貯湯ユニットの漏電しゃ断器を「切」にする

2 給水元栓を閉じる

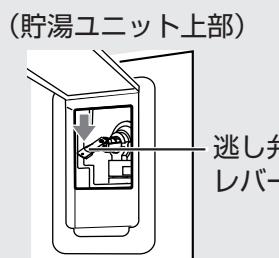
3 逃し弁レバーを上げる

4 市販のホースを非常用取水栓に差し込む

5 ホース差し込み部を持って非常用取水栓を左に回し、お湯または水を出す

- 熱湯が出る場合があります。やけどにご注意ください。

6 使用後は、
ホースを持って非常用取水栓を右に回し、お湯または水を止める

7 逃し弁レバーを下げる

★ヒートポンプ給湯機を再使用するときは、「ご使用前の準備と確認」【12,13ページ】に従ってください。

故障かな？

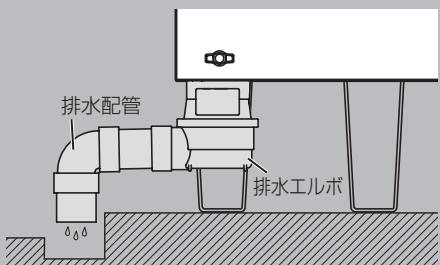
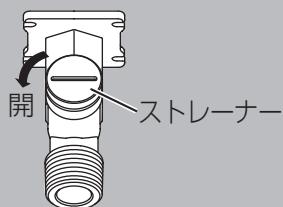
お問い合わせや修理を依頼される前に、ご確認ください。

	こんなときは	調べるところ・原因・対策
リモコン	湯切れした	● お湯増し を押してください。【15ページ】
		● 1日に沸かす湯量を「節約」または「深夜のみ」に設定している場合は、「おまかせ」または「たっぷり」にしてください。【28,29ページ】
	リモコンの時刻表示が、“0 00”で点滅している	約30分以上停電したことを表示しています。リモコンの 確定 を押してください。押した後、現在時刻にもどります。【27ページ】
	リモコンの表示が暗い	表示節電設定が「入」になっているためです。【25ページ】 表示節電をしない場合は、「切」にしてください。
	お湯が出ない	給水元栓が閉まっていませんか？給水元栓を開けてください。
		断水していないか確認し、断水が復旧したら、断水後の処置をしてください。【35ページ】
		● 長期間の断水のときは下記の処置をしてください。 1.貯湯ユニットの漏電しゃ断器 を「切」にする。 2.給水元栓を閉める。 ● 再びご使用になるときは、給水元栓を開け、混合水栓からお湯または水が出ることを確認して、貯湯ユニットの漏電しゃ断器を「入」にしてください。
本体	残湯量表示が減らない（お湯が余る）	お湯の使用量が少ない場合は1日に沸かす湯量を「節約」でご使用ください。全量沸かさずに停止します。
	浴そう水が青く見えたり、タオル、タイルの目地が青くなる	水中に含まれているわずかな銅イオンの影響によるものです。人体には害はありません。【14ページ】
	貯湯ユニットから音がする	沸き上げ運転中は、ポンプが作動し、音がしますが異常ではありません。
	お湯から油が出る、お湯が臭い	初めて使用するときは、配管工事のときの油やにおいがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。
	朝になっても残湯量表示が全て点灯した状態になっていない（タンク全量沸いていないのでは？）	● 冬期に外気温が低く、ヒートポンプユニットの能力が低下する場合は、夜間にタンク全量沸かない場合があります。 ● 「節約」に設定していませんか？【29ページ】 夏期にタンク内のお湯が余り気味になる場合は、ヒートポンプユニットの運転効率が低下するのを防ぐため、早めに沸き上げ運転を終了することがあります。

こんなときは	調べるところ・原因・対策
本体	
残湯量表示が全て点灯しているのに沸き上げしている	お湯を使ったらおふろの湯量を確保するために、すぐに沸き増しをする場合があります。 タンクの3分の2の湯量まで沸き上げると残湯量表示が全て点灯します。(460 Lタイプのみ)
湯温が上下したり水になったりする	● 次の場合が考えられます。 ・お湯はりと給湯を同時に行ったとき ・お湯を出したり止めたりを繰り返したとき ・2か所以上でお湯を使用したとき ・台所などで少ししかお湯を出していないとき(水になります) ・シャワーを確実に止めずに、再びシャワーを出したとき
湯温が設定よりも低くなる	蛇口やシャワーから、お湯を少ししか出さない場合は、湯温が設定よりも低くなることがあります。少湯量では給湯温度のコントロールが不安定になるためで故障ではありません。
沸き上げ中に排水配管またはドレン口(逃し弁排水)から水が漏れる	リモコンの「沸上中」表示が点灯中、タンク内の水が膨張し、逃し弁が作動して排水配管またはドレン口(逃し弁排水)から徐々に水またはお湯が出ますが、故障ではありません。
沸き上げ運転中、ヒートポンプユニットのドレン口から水が出る	ヒートポンプユニットが大気から熱を吸収するときに、結露した水が出てきます。
ヒートポンプユニットから水や湯気が出る	ヒートポンプユニットに付いた霜を取り除き、水や湯気として出すためです。
「おまかせ」でお湯があまる お湯があるのに昼間沸き上げ運転をする	使い始めは、お湯を多めに沸かします。少なくしたいときは1日に沸かす湯量を「おまかせ」→「深夜のみ」→「おまかせ」にすると、お湯の沸かす量を最少にして学習を始めます【28,29ページ】
寒い時、ポンプが動く音がする	凍結予防のため、ポンプが自動的に作動し、ユニット間のお湯を循環させているためです。異常ではありません。
沸き上げ運転中、ヒートポンプユニットが霜で白くなる	冬期運転中は霜がつくことがあります。
混合水栓を止めたときに水撃音がする	水圧が高い地域では、カンカンとウォーターハンマー音(水撃音)が発生します。水撃防止装置を取り付けるかウォーターハンマー低減機能付シングルレバー混合水栓をご使用ください。
シャワーの湯温が上がらない(サーモスタットタイプの混合水栓使用時)	湯温が混合水栓側の設定まで上がらないときは、リモコンで給湯温度設定を高めに設定してください。【17ページ】 それでも湯温が上がらないときは混合水栓の点検が必要です。 混合水栓のメーカー(サービス会社)にお問い合せください。
夜間通電時間になってもヒートポンプユニットが動かない	朝沸き上がるように水温や残湯量によって通電開始時間を調整するためです。
夜間通電時間帯の通電終了時間よりも早く沸き上がる	昼間の残湯があるときは、通電終了時間よりも早く沸き上がります。

故障かな？

お問い合わせや修理を依頼される前に、ご確認ください。

こんなときは	調べるところ・原因・対策
「沸上中」が消灯中に排水配管・ドレン口から水が漏れる 	沸き上げ運転中以外（リモコンの「沸上中」が消えているとき）に排水配管・ドレン口（逃し弁排水）から水が漏れているときは、逃し弁レバーを数回上下に動かした後、逃し弁レバーを下げて排水配管・ドレン口からのお湯（水）が止まるか、しばらくの間確認してください。 ※上記操作を行っても排水配管・ドレン口から、お湯（水）が出続けている場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。 ※漏れたままにしておくと、湯温が低くなったり、湯量不足がおこったりして水道代、電気代が平常月より高くなることがあります。
お湯の出が悪くなったとき 	給水接続口に付属しているストレーナー（フィルター）にごみなどがつまっていることがあります。 ●掃除の方法 やけど防止のため次の手順で行ってください。 1. 「長期間使わないとき」【31ページ】の項に従って排水する。 2. 排水後、ストレーナー（フィルター）をはずし、網を掃除する。 3. ストレーナー（フィルター）を閉め、「ご使用前の準備と確認」【12ページ】の項に従って再びご使用ください。 ※上記操作を行ってもお湯の出が良くならない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
水漏れしている 「F17」の異常表示が出た 	● 水漏れがあるときやリモコンに「F17」の異常表示（ブザー報知）が出たときは、給水元栓を閉めてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

移設するときは…

●増改築・引越しなどで、機器を移設したり、再据付する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

配管部材の修理…

●配管部材にかかわる修理は販売店（工事店）にご連絡ください。

リモコン表示部に出た異常表示について

以下の異常表示は、お客さまが対処できる異常表示です。それぞれの方法で対処してください。

<table>
<tr><th>異常表示</th><th>内　　容</th><th>処　置　方　法</th></tr>
<tr><td rowspan="3">F12</td><td>ヒートポンプユニットの空気抜きが不十分</td><td>「ご使用前の準備と確認」【12,13ページ】に従って、対処してください</td></tr>
<tr><td>給水元栓が閉まっている</td><td>給水元栓を開ける</td></tr>
<tr><td colspan="2">※給水管が凍結している場合も、この表示が出ます。
凍結予防工事を販売店にご依頼ください。
※処置後は、漏電しゃ断器を「切」にし、約1分間後、「入」にして異常表示を解除してください。</td></tr>
</table>

次のときは、お買い上げの販売店にご連絡ください

●上記の処置をしても直らない

●上記以外の表示が出た

⇒給水元栓を閉め、配線用しゃ断器、貯湯ユニットの漏電しゃ断器を「切」にしてください。

●凍結のおそれがある時期に異常表示が出た

⇒配管が凍結して故障が拡大する場合があるため、配線用しゃ断器、貯湯ユニットの漏電しゃ断器および配管の凍結予防ヒーター（市販品）は「切」にしないですみやかに連絡してください。

故障かな？

リモコンに異常表示が出た場合、以下をご確認ください。

OKモニターを確認する

リモコンに異常表示が表示されたとき、再度確認できます。

1 メニュー

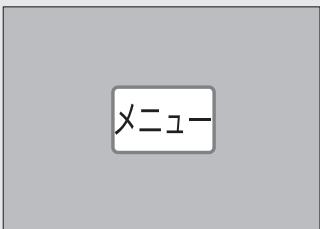
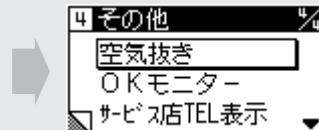
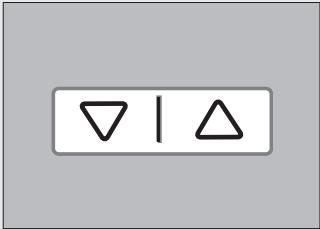
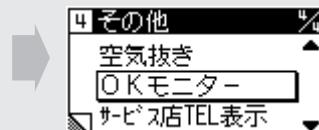
4回押す

4 その他 ¼
空気抜き
OKモニター
ｻｰﾋﾞｽ店TEL表示

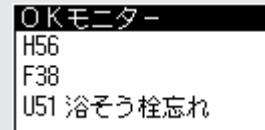
2 ▽ | △

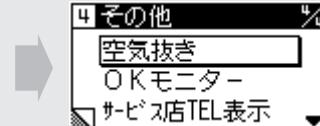
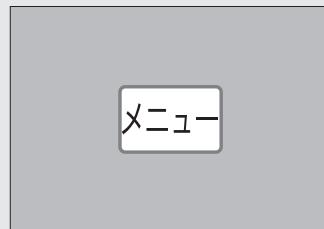
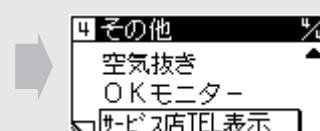
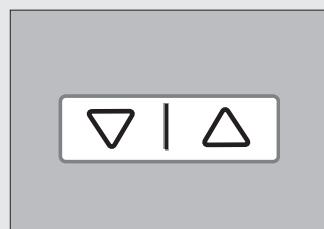
「OKモニター」を選ぶ

4 その他 ¼
空気抜き
OKモニター
ｻｰﾋﾞｽ店TEL表示

3 確定

押す

確定 を押す、または約1分後
自動的に終了します。

10:00 おまかせ
41
給湯℃

サービス店TELを表示する

サービス店またはお買い上げの販売店の電話番号が表示されます。
※その他の項目に「サービス店TEL表示」がない場合もあります。工事時、登録していないためですが、異常ではありません。

確定 を押す、または約1分後自動的に終了します。

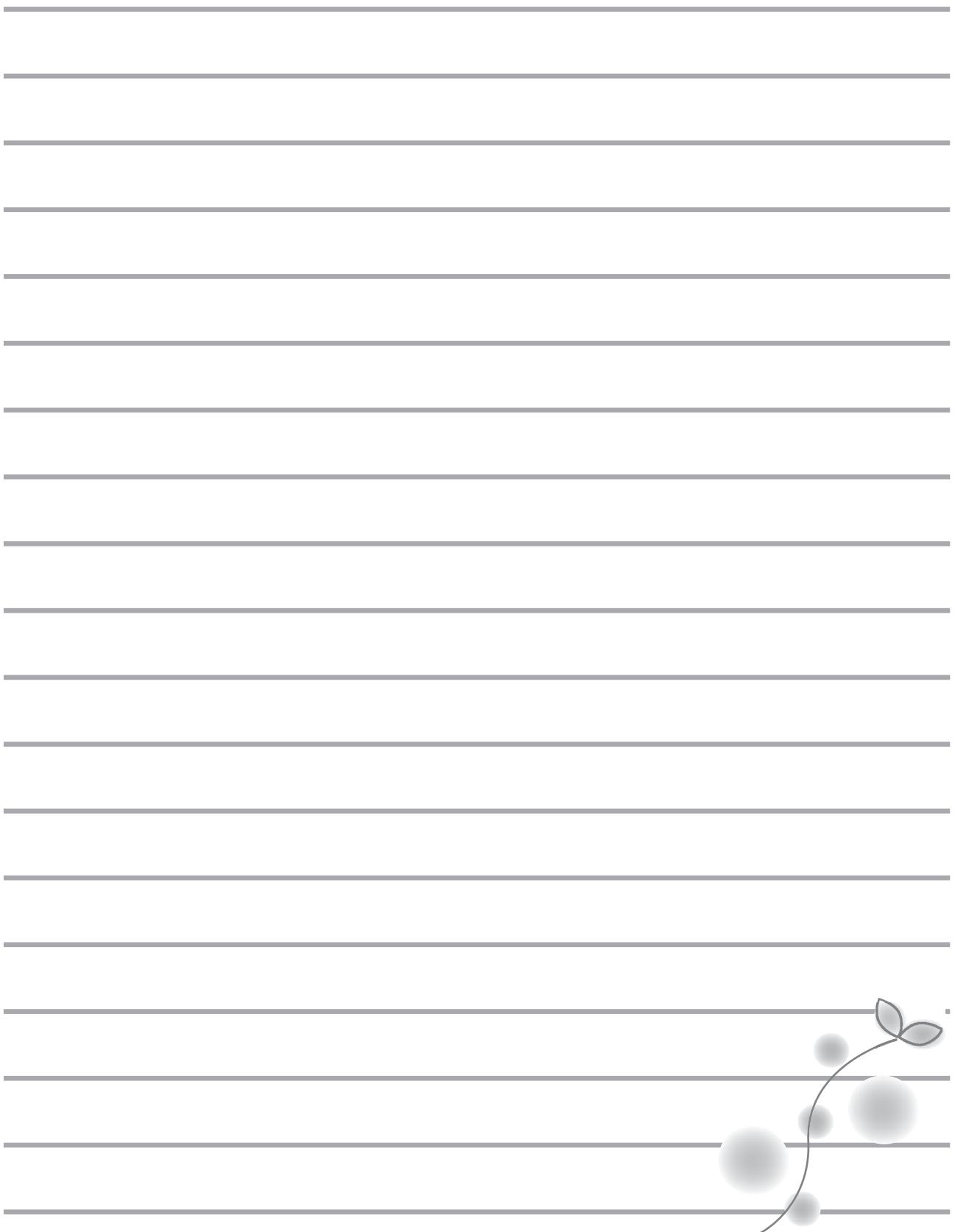
仕様

本製品の基本情報です。必要なときにご確認ください。

項目＼品番		ヒートポンプ給湯機		
		貯湯ユニット		ヒートポンプユニット
		HE-F37AZP	HE-F37AZMP	HE-PF45AP
適用電力制度		時間帯別電灯通電制御型／季節別時間帯別電灯通電制御型		
設置場所		屋外用	屋内用	屋外用
使用電源		単相200 V　50/60 Hz 両用		
*年間給湯効率		3.1		
タンク容量	L	370		
*中間期加熱能力	kW	4.5		
*中間期消費電力	kW	0.915		
中間期COP		4.9		
*冬期高温加熱能力	kW	4.5		
*冬期高温加熱消費電力	kW	1.500		
*寒冷地冬期高温加熱能力	kW	4.5		
*寒冷地冬期高温加熱消費電力	kW	2.000		
*夏期加熱能力	kW	4.5		
*夏期消費電力	kW	0.845		
*中間期運転電流	A	4.9		
最大電流	A	18		
沸き上げ温度	℃	約65～約90		
外形寸法(高さ×幅×奥行)	mm	1880×600×680		690×780(858)×289
質量（満水時）	kg	71（441）		54
*運転音 中間期	dB	―		38
水側最高使用圧力	kPa	190		―
設計圧力	MPa	―		高圧14.0（ゲージ）／低圧9.0（ゲージ）
冷媒名／封入量	g	―		R744／800
安全装置		漏電しゃ断器、缶体保護弁		
付属品		リモコン・取扱説明書・工事説明書・保証書		―
給湯温度		給湯温度設定：水、32 ℃、35 ℃、38～47 ℃（1 ℃ステップ）、60 ℃		

●*運転性能特性は日本冷凍空調工業会標準規格（JRA 4050：2007R）に基づいた数値です。
●運転使用範囲は－20 ℃～43 ℃です。
●沸き上げ運転をしていないときでも電力を消費します。
リモコン表示点灯時：約7 W　　リモコン表示消灯時：約6 W
●ヒートポンプユニット外形寸法（　）内はカバーを含んだ幅寸法です。

項目＼品番		ヒートポンプ給湯機		
		貯湯ユニット		ヒートポンプユニット
		HE-F46AZP	HE-F46AZMP	HE-PF60AP
適用電力制度		時間帯別電灯通電制御型／季節別時間帯別電灯通電制御型		
設置場所		屋外用	屋内用	屋外用
使用電源		単相200 V　50/60 Hz 両用		
*年間給湯効率		3.0		
タンク容量	L	460		
*中間期加熱能力	kW	6.0		
*中間期消費電力	kW	1.240		
中間期COP		4.8		
*冬期高温加熱能力	kW	6.0		
*冬期高温加熱消費電力	kW	1.770		
*寒冷地冬期高温加熱能力	kW	5.4		
*寒冷地冬期高温加熱消費電力	kW	2.400		
*夏期加熱能力	kW	6.0		
*夏期消費電力	kW	1.160		
*中間期運転電流	A	6.25		
最大電流	A	18		
沸き上げ温度	℃	約65～約90		
外形寸法(高さ×幅×奥行)	mm	2190×600×680		690×780（858）×289
質量（満水時）	kg	81（541）		55
*運転音 中間期	dB	―		42
水側最高使用圧力	kPa	190		―
設計圧力	MPa	―		高圧14.0（ゲージ）／低圧9.0（ゲージ）
冷媒名／封入量	g	―		R744／880
安全装置		漏電しゃ断器、缶体保護弁		
付属品		リモコン・取扱説明書・工事説明書・保証書		―
給湯温度		給湯温度設定：水、32 ℃、35 ℃、38～47 ℃（1 ℃ステップ）、60 ℃		

●*運転性能特性は日本冷凍空調工業会標準規格（JRA 4050：2007R）に基づいた数値です。
●運転使用範囲は−20 ℃～43 ℃です。
●沸き上げ運転をしていないときでも電力を消費します。
　リモコン表示点灯時：約7 W　　リモコン表示消灯時：約6 W
●ヒートポンプユニット外形寸法（　）内はカバーを含んだ幅寸法です。

保証とアフターサービス

よくお読みください。

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ!
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体・リモコンは1年間
ただし、ヒートポンプ冷媒系統は3年間、タンクは5年間（水漏れ現象に適用）です。

■補修用性能部品の保有期間 9年

当社は、このヒートポンプ給湯機の補修用性能部品を、製造打ち切り後9年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

36～39ページの「故障かな？」に従って調べていただき、直らないときは必ず貯湯ユニットの漏電しゃ断器を「切」にし、給水元栓を閉め、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。次の修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  - 技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  - 部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  - 出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
品　名	ヒートポンプ給湯機
品　番	
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談

パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

パナソニック お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187
FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区

拠点	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	(0138)48-6631

東北地区

拠点	所在地	電話番号
青森	青森市大字浜田字豊田364	(017)775-0326
秋田	秋田市外旭川字小谷地3-1	(018)868-7008
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	(024)991-9308

首都圏地区

拠点	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	(055)222-5822
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	(045)847-9720
新潟	新潟市東区東明1丁目8-14	(025)286-0180

中部地区

拠点	所在地	電話番号
石川	金沢市横川3丁目20	(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	(0776)21-0622
長野	松本市寿北7丁目3-11	(0263)86-9209
静岡	静岡市葵区千代田7丁目7-5	(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	(0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	(059)254-5520

近畿地区

拠点	所在地	電話番号
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	(075)646-2123
大阪	大阪市城東区関目2丁目15-5	(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	(073)475-2984
兵庫	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4	(078)796-3140

中国地区

拠点	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	(086)242-6236
広島	広島市西区南観音1丁目13-5	(082)295-5011
山口	山口市小郡下郷220-1	(083)973-2720

四国地区

拠点	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	(089)905-7544

九州地区

拠点	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1919-1	(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	(096)367-6067
天草	天草市港町18-11	(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	(099)250-5657
大島	奄美市名瀬朝仁町11-2	(0997)53-5101

沖縄地区

拠点	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0608

愛情点検	長年ご使用のヒートポンプ給湯機の点検を！
	こんな症状はありませんか ● 漏電しゃ断器が自動的に「切」になる。 ● 使用中にこげ臭いにおいがしたり、異常な音や振動がする。 ● 熱いお湯が出続ける。 ● 運転中以外に逃し弁から水が漏れる。 ● 貯湯ユニット、配管から水が漏れる。 ● その他の異常や故障がある。 ▶ ご使用中止 故障や事故防止のため、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です	お買い上げ日	年　　月　　日	品　番
	販売店名	☎（　　　）　　–	

製造元　パナソニック電工株式会社
パナソニック株式会社　エアコンビジネスユニット

〒525-8520 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-1号

F566441
S1108A0